



泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき
 雨の日は自宅でのんびり読書
 をしませんか? メロン



新着・お薦め図書

泗水図書館

辛夷の花
 緑衣のメトセラ
 天下一の軽口男
 彼女に関する十二章
 小さな本の大きな世界
 獣医さんだけが知っている動物園のヒミツ人気者のホンネ
 パヤタスに降る星
 そりゃあもういいひだったよ

葉室 麟 著
 福由和代 著
 木下昌輝 著
 中島京子 著
 長由 弘 著
 北沢 功 監修
 山口千恵子 文
 荒井良二 絵

中央公民館図書室

ストレスゼロの伝え方
 アトピーの夫と暮らしています
 骨からわかる日本人の起源
 亀河岸
 黒のコスモス少女団
 ガラスのベゴマ
 だーれのおしり?

木村英一 著
 陽菜ひよ子 著
 片山一道 監修
 宇江佐真理 著
 朱川湊人 著
 種 なほ 作
 よねづゆうすけ 作

七城公民館図書室

家族みんなを元気にするグルテンフリーレシピ
 ファスナーの本
 みずたまのたび
 白いイルカの浜辺

伊藤ミホ 著
 森岡圭介 編
 アンヌ・クロザ さく
 ジル・ルイス 作

旭志公民館図書室

サブマリン
 おかんメール 5 『おかんメール』製作委員会 編
 ぼくはいったいなんやねん
 うるうのもり

伊坂幸太郎 著
 岡田よしたか 著
 小林賢太郎 絵と文

こんにちは
七城公民館図書室です!

七城図書室は、七城公民館の1階にあります。現在約11,000冊を所蔵し、話題の新刊や雑誌、絵本・紙芝居などをそろえています。

また、季節ごとのテーマに応じた展示やイベントも行っていきます。絵本コーナーでは靴を脱いでお子さんと一緒にゆっくりと本を読むことができます。勉強机もありますので調べものや勉強にお使いください。

毎月第3土曜日には読み聞かせを行っています。皆さんのお越しをお待ちしています!

児童書の展示コーナーもおすすめですよ!

私たち司書になんでもお尋ねください!

耳より情報

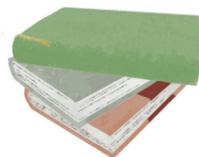
リサイクル本を配布します

7月23日(土)開催の社会を明るくする運動菊池市集会で、図書館(室)で使用できなくなった本や雑誌のバックナンバーをリサイクル本として無料配布します。本を入れる袋やバッグはお持ちください。

とき 7月23日(土) 午後1時～ なくなり次第終了

ところ 泗水ホール

※当日は駐車場の混雑が予想されます。ご迷惑をおかけしますが予めご了承ください。



怖い話、不思議な話を募集します

あなたの知っている怖い話、不思議な話を募集します。学校の七不思議やあなたが体験したちょっと怖い話などを、図書室にあるおばけの用紙に書いてやなぎの木に貼ってみましょう。図書室に遊びにくると集まったいろんなお話が読めるかも!?

とき 6月1日(水)～8月31日(水)

ところ 旭志公民館図書室



万句の里俳句会 5月句会
 集まりし小さな羽音えこの花
 北村 妙子
 地震の夜の怯える空に春の星
 林 まつ子
 余震なほ新茶に我を取りもどす
 緒方 朋子
 蔓引けばぐらりと動く木下闇
 松永 久子
 余震なほ眠れぬ夜の朧月
 中路 郁子

せせらぎ俳句会 4月例会
 夜桜や二人に言葉など要らぬ
 五丁 義昭
 大地震一夜に無惨樟の城
 藤本アツ子
 震源の益城氣遣ふ春の雨
 服部 静子
 本震も余震も余所に若葉風
 寺本 和子
 生涯の果の激震春夜明く
 藤本 邦治
 旭志文芸教室俳句の会 4月詠草
 元気良く泣く子は育つ初節句
 水谷 ミネ
 風孕み猛る炎や野火走る
 芹川のり子
 鯉の群背ビレを揺らし春の川
 中尾ヨシコ

髪切りて鏡の我に春來たる
 芹川 蓉子
肥後狂句水笑会 4月例会
 桜の名所 外国人の溢れとる
 御手洗三代
 きゃあ眠り 大地震にも気のつかん
 井手 水光
 きゃあ眠り 犬は吠えんで高いびき
 吉田 沁嗣
 むずかしか 婚活何度しただろか
 柏原 乗仏
 むずかしか 親の躰ばせにやならん
 山隈 好茶

七城短歌会 4月詠草
 耐震の整う隣家の人篤し誘いに甘え
 池田カツ子
 避難せし我 野は土筆庭に松の芽直に伸ぶそこは
 佐々 重弘
 小学校の卒業証書をしかと手に持つ
 孫のひと皮むけし顔 嶋田 晴美
 庭草を抜かむと夫の在りし日の麦藁
 帽子を冠り意気込む 緒方 寛子
 散歩道拾いし空き缶ビニールの袋の中
 高木 精

菜の花の大地彩り春を呼ぶスカーフ
 巻けば和らぐ心 緒方 悦子
 みどり葉の中に薄き紫の屈まり見れ
 ば都忘れの花 梶原美智代
 寂しくばCDの音高くしてアメージ
 ンググレイスを胸深く聴く
 山城 雅子
 散歩する犬も水場に走りくる公園の
 午気温上りゆく 前原 ゆみ
 「ただいま」と言へる言はれる幸せよ
 花真つ盛り紅きサボテン
 中川 愛子
 歳重ねスーツの上下身に余る詰めて
 補整の手縫いの一日 北村 玉恵
 日和り見るのみの鞍岳仰ぎしに医院
 入院早もひと月 山下 菊代
 逆さまに花につかまり蜜を吸う椿の
 中のメジロ軽やか 岩根 博恵
 娘から紅き雨傘プレゼント雨に唄え
 ば心うきうき 堤 よしみ

菊池短歌会 5月詠草
 いくたびの予震に怯ゆ暗闇に光明の
 ごと満天の星 林 まつ子
 野茨にゐるみつ蜂のよろこびを我が
 ものとして委細ちんもく
 怒留湯健蓉
 真夜中の大地を揺らす激震に願ふは
 ひとつただ生きていて
 川口 幸臣



恐ろしきものの過ぐるを息ひそめひ
 た待つ我はうさぎの如し
 安藤 則子
 拒否されしオスプレイ支援待つ人へ
 大空高く物資を運ぶ 岩永 典子

